

## 仙台市国民健康保険における保健事業の取組みについて

## 1 保健事業の概要

## (1) 特定健診

- ・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診により、生活習慣病のリスクの早期発見を図るもの。
- ・年に1回、市内約400か所の登録医療機関において、40～74歳の被保険者を対象に実施している。
- ・検査項目は、既往歴・自覚症状及び他覚症状・理学的検査・身体計測・血圧・脂質・肝機能・血糖・腎機能・尿酸・尿・貧血・心電図・眼底。

※令和3年度実績：対象となる被保険者（145,792人）のうち62,212人が受診（受診率42.7%）。

【図1】

## (2) 特定保健指導

- ・特定健診の結果、生活習慣病の発症リスクが高い方に対し、面接等を通して生活習慣の改善と予防に向けた支援を行う。
- ・「メタボ該当」に相当する方に対して、委託4事業者において「積極的支援」を実施。

※令和3年度実績：対象者1,761人のうち165人が利用（実施率9.4%）。【図1】

- ・「メタボ予備群」に該当する方に対して、特定健診の登録医療機関において「動機付け支援」を実施。

※令和3年度実績：対象者5,413人のうち470人が利用（実施率8.7%）。【図1】

## (3) 重症化予防

- ・特定健診の結果、脂質及び腎機能の検査値が基準を超えている方、並びに糖尿病腎症のリスクがある方等に対し、文書や電話等による受診勧奨及び保健指導を実施している。

※令和2年度実績：対象者4,287人のうち2,178人が受診（受診率50.8%）。

（事業別受診率【図2】）

## (4) 市民健診助成制度

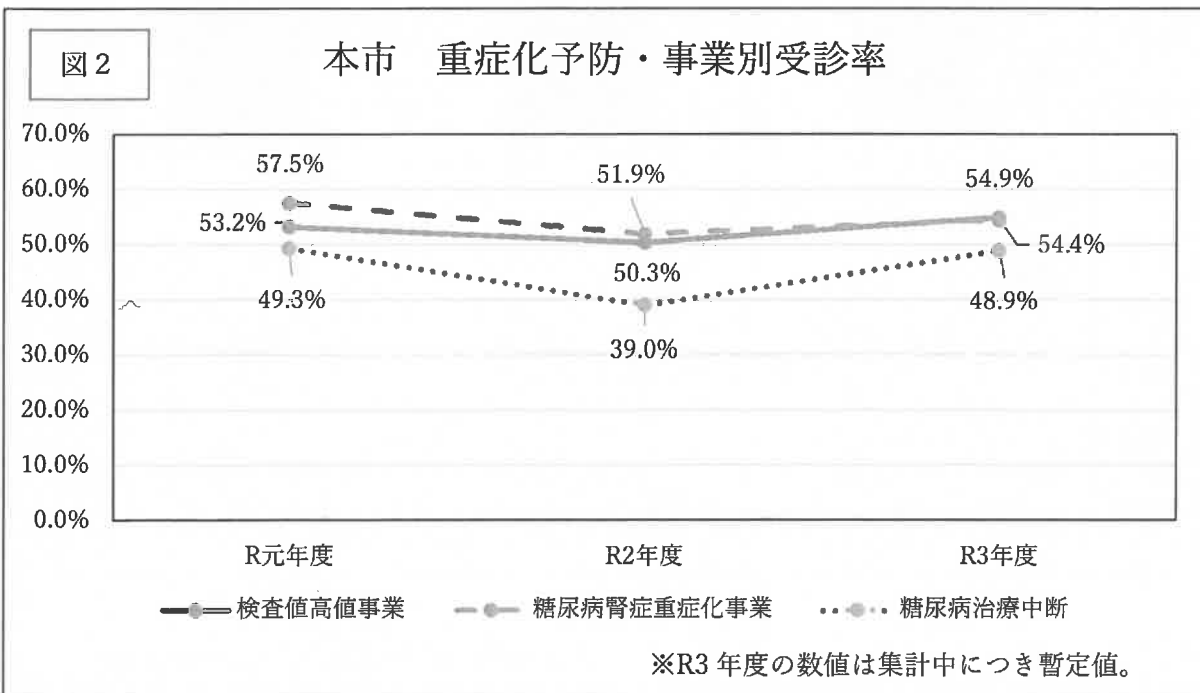
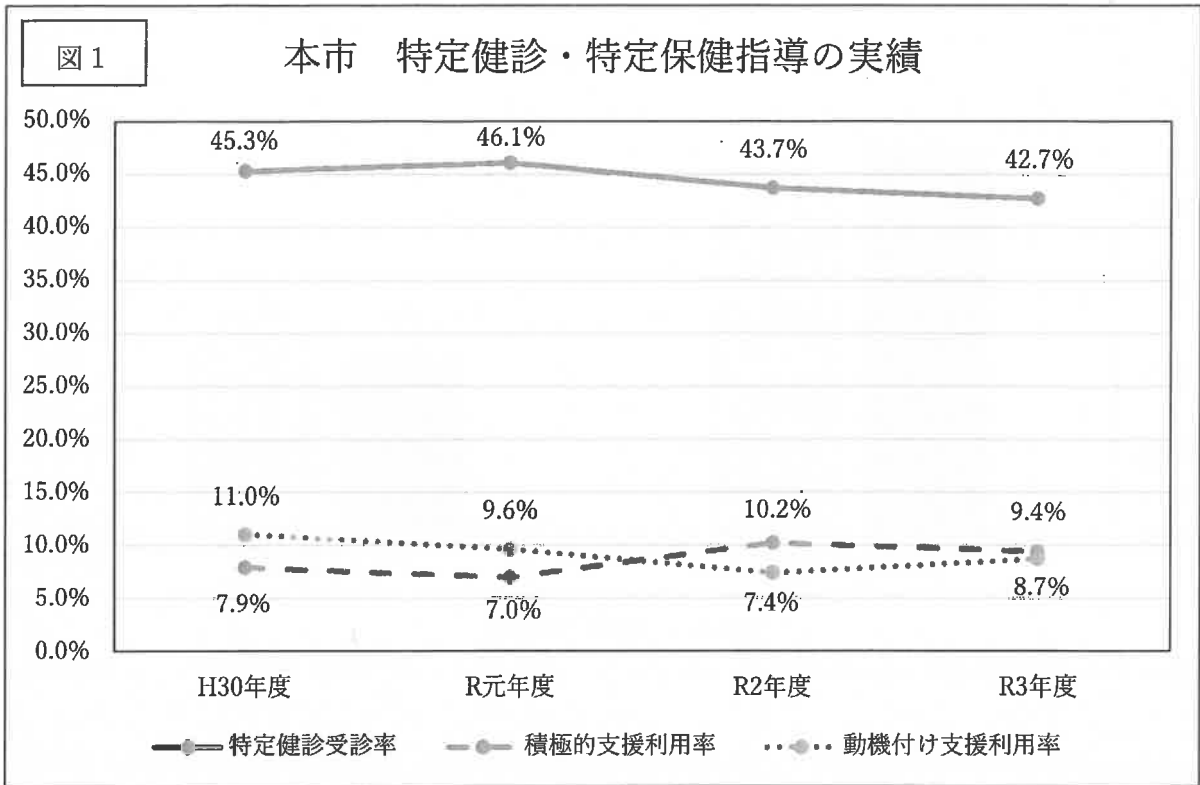
- ・本市が実施する市民健診を国保被保険者が受診する際に、自己負担額の全額または一部を助成している。

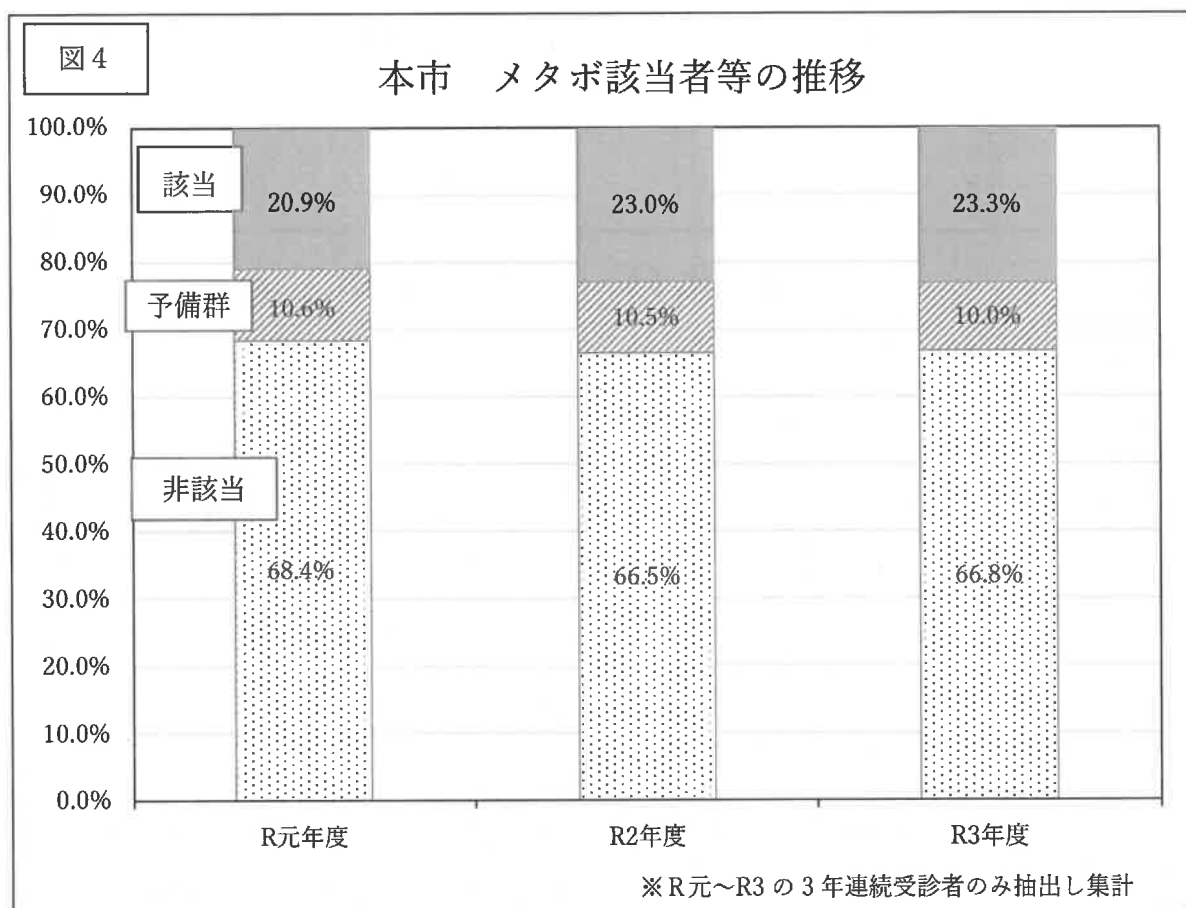
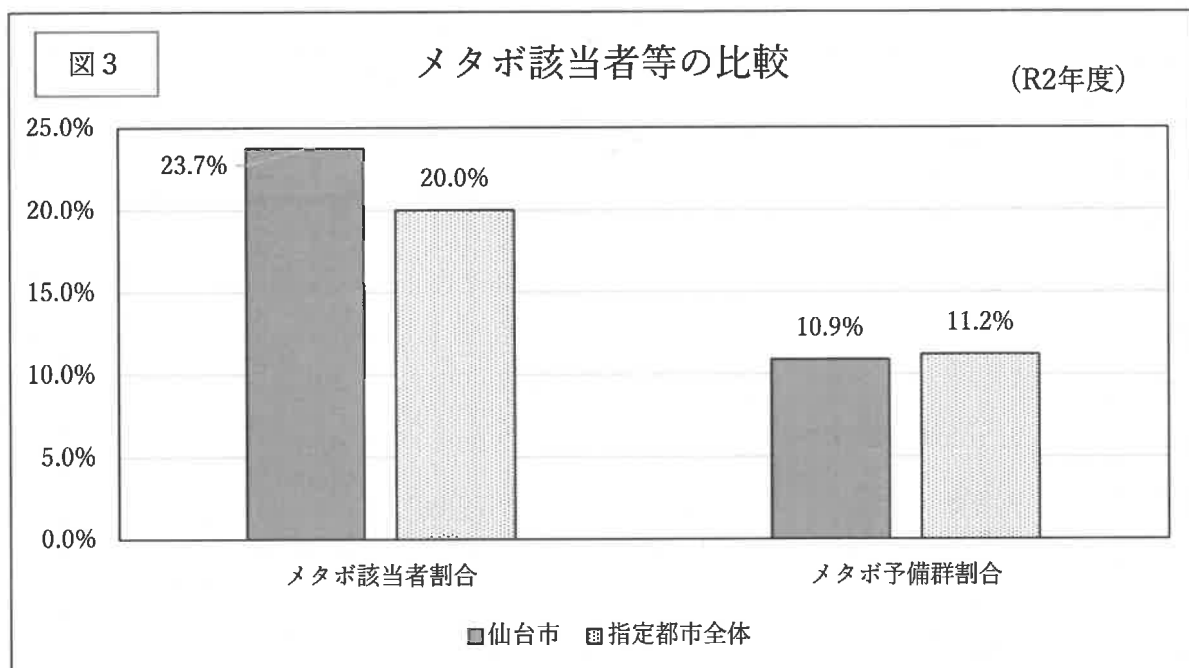
※助成対象となる市民健診

胃がん健診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん・結核健診、大腸がん検診、基礎健診、前立腺がん検診、骨粗鬆症、歯周病

## 2 主な課題と今後の取組み

- ・ 特定健診の受診率は指定都市の中では高い水準だが、なお半数が未受診である。  
⇒文書や電話による勧奨、インセンティブの提供などの従来の取組みを継続することに加え、未受診者の分析等を進め、他都市等の事例も参考にしながら、効果的な勧奨を図っていく。
- ・ 他都市と比較してメタボ該当者が多いものの、特定保健指導の利用率が低い。  
※令和2年度メタボ該当者割合：23.7%【図3】  
⇒未利用者の状況把握や分析を進めるとともに、他都市等の事例も参考にしながら、実施率の向上につながる取組みを進めていく。あわせて、生活スタイル等の変化に合わせオンライン面接を導入するなど、利用しやすい環境の整備も推進する。
- ・ 重症化予防の取組みは、およそ半数の方の医療機関受診に結びついているが、なお受診者の増加を図っていく必要がある。  
⇒重症化リスクをわかりやすく伝える工夫など、医療機関受診の動機付けとなるような勧奨手法を検討していく。
- ・ 特に令和2年度から3年度にかけて、特定健診の受診率が減少するとともに、メタボ該当者【図4】が増加しているが、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えや生活スタイルの変化が影響している可能性がある。  
⇒引き続き、今後の受診率やメタボ該当者等の動向を分析し、効果的な受診勧奨や啓発等の取組みを図っていく。





※各図の数値は実績値による。